

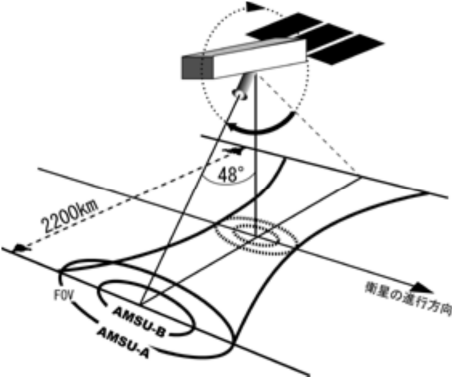
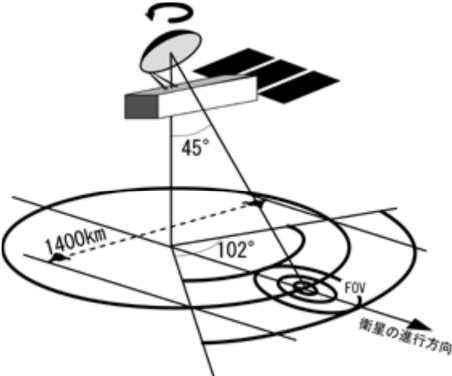
付録2 略語表

略語	完全形	意味
ADT	Advanced Dvorak Technique	CIMSS で開発された改良型ドボラック解析手法。AODT の後継版。
AMSR2	Advanced Microwave Scanning Radiometer 2	GCOM-W (しずく) 衛星に搭載されている AMSR-E の後継センサー。7・11・19・24・37・89GHz の波長帯を観測。
AMSR-E	Advanced Microwave Scanning Radiometer for EOS	Aqua 衛星に搭載されている改良型高性能マイクロ波放射計。2011 年に観測を終了した。
AMSU	Advanced Microwave Sounding Unit	NOAA15 号以降に搭載されている改良型マイクロ波探査計。酸素からのマイクロ波放射を観測することにより気温を観測する AMSU-A、と水蒸気の鉛直分布を観測する AMSU-B がある。
AMSU-A	Advanced Microwave Sounding Unit-A	NOAA15～19 号、Aqua、Metop に搭載されている改良型マイクロ波気温サウンダ。
AMSU-B	Advanced Microwave Sounding Unit-B	NOAA15～17 号に搭載されている改良型マイクロ波水蒸気サウンダ。
AODT	Advanced Objective Dvorak Technique	ウィスコンシン大学で開発された改良型客観ドボラック解析手法(プログラム)。
Aqua	Aqua	AMSR-E や AMSU-A を搭載した極軌道衛星。AMSR-E は 2011 年に運用を終了した。
ASCAT	Advanced Scatterometer	Metop -A 及び Metop -B に搭載されている改良型マイクロ波後方散乱計。5.255GHz 帯を利用しており、海上風向風速の推定に利用できる。2017 年に打ち上げ予定の Metop -C にも搭載予定。
ATMS	Advanced Technology Microwave Sounder	S-NPP 衛星に搭載されている AMSU-A 及び AMSU-B の後継マイクロ波探査計。2017 年に打ち上げ予定の JPSS (NOAA シリーズの後継極軌道衛星) にも搭載予定。
AWSSW	All Weather Sea Surface Wind	マイクロ波放射計 AMSR-E の観測データにより開発され、AMSE2 に引き継がれた全天候型海上風速プロダクト(気象庁向けプロトタイプ)。
BUFR	Binary Universal Form for the Representation of meteorological data	国際気象通報式 FM94。
CDO	Central Dense Overcast	台風の中心を取り巻くほぼ円形の濃密な雲域。
CI (数)	Current Intensity Number	ドボラック法による熱帯低気圧の強度を気圧及び最大風速と関連付ける指標。
CIMSS	Cooperative Institute for Meteorological Satellite Studies	NESDIS とウィスコンシン大学の SSEC (Space Science and Engineering Center) が共同運営している気象衛星研究共同研究所。
CIRA	Cooperative Institute for Research in the Atmosphere	コロラド州立大学大気共同研究所。
CloudSat	Cloud Satellite	米国の雲レーダー衛星。
Coriolis	Coriolis	WindSat を搭載している極軌道衛星。
CSC	Cloud System Center	熱帯低気圧等の組織的な雲システムの中心。

D MSP	Defense Meteorological Satellite Program	米空軍の軍事気象衛星。2014 年現在気象庁予報課では 15～18 号のマイクロ波放射計及び探査計（SSM/I、SSMIS）を利用している。2014 年 4 月に 19 号が打ち上げられた。
DoD	Department of Defense	米国防総省。
DPR	Dual-frequency Precipitation Radar	GPM 衛星に搭載されている衛星搭載 2 周波開口レーダー。13.6GHz と 35.55GHz の 2 周波帯で観測。
DT 数	DATA T (number)	ドボラック法で CI 数を解析するための 3 つの T 数の 1 つ。雲パターンを計測して求めた T 数。
Dvorak 法	Dvorak method	米国海洋大気庁の気象学者である Vernon Dvorak 氏及び同氏が開発した静止衛星画像を用いた熱帯擾乱の中心位置・中心気圧・最大風速等を推定する手法で、事実上の世界標準的な台風解析手法の名称。
EOS	Earth Observing System	NASA の地球観測システム。Terra、Aqua、Aura の 3 機により構成される。
FOV	Field Of View	観測視野（角）
GCOM	Global Change Observation Mission	地球環境変動観測ミッション。
GCOM-W	GCOM-Water	GCOM 計画において、水循環変動に関する観測を担当する衛星。
GMI	GPM Microwave Imager	GPM 衛星に搭載されたマイクロ波放射計。11・19・24・37・89・166・183GHz の波長帯を観測。
GMS	Geostationary Meteorological Satellite	日本の静止気象衛星の名称（1～5 号）。広義では静止気象衛星全般を指す。
GMSLP	Geostationary Meteorological Satellite Loop Program	静止気象衛星「ひまわり」の画像を表示・動画させるためのソフトウェア。
GOES	Geostationary Operational Environmental Satellite	米国の静止現業環境衛星。
GPM	Global Precipitation Measurement	全球降水観測（計画）またはこの観測のための軌道衛星。
ISS	International Space Station	国際宇宙ステーション。
JAXA	Japan Aerospace Exploration Agency	（日本）宇宙航空研究開発機構。
JMA	Japan Meteorological Agency	気象庁。
JPSS	Joint Polar Satellite System	2017 年から運用開始を予定している NOAA 衛星の後継機。
MADRAS	Microwave Analysis and Detection of Rain and Atmosphere Systems	Megha-Tropiques 衛星に搭載されているマイクロ波放射計。（マイクロ波放射計の稼働実績なし）
Megha-Tropiques	Megha-Tropiques	フランスとインドの共同実験ミッションで緯度 10 度から 20 度の熱帯収束帯（ITCZ）の水循環とエネルギー交換の研究用データを取得し、他の太陽同期衛星データとともに熱帯気候研究に役立てられる。
MET（数）	Model expected T(Tropical) number	ドボラック法で CI 数を解析するための 3 つの T 数の 1 つ。24 時間前の雲画像と比較して求めた T 数。

Metop	Meteorological Operational Satellite Program of Europe	EUMETSAT が運用している極軌道衛星。AMSU、ASCAT 等を搭載。2014 年現在 A 及び B の 2 機を運用中。2017 年には C を打ち上げ予定。
MHS	Microwave Humidity Sounder	NOAA 及び Metop 衛星に搭載されているマイクロ波水蒸気サウンダ、AMSU-B の後継機。
MIMIC-TC	Morphed Integrated Microwave Imagery at CIMSS-Tropical Cyclone	CIMSS が運営している Tropical Cyclone のマイクロ波画像の合成動画 Web サイト。
MIMIC-TPW	Morphed Integrated Microwave Imagery at CIMSS - Total Precipitable Water	CIMSS が運営しているマイクロ波画像から推定した降水量の Web サイト。
MSC	Meteorological Satellite Center	気象衛星センター。
MSU	Microwave Sounding Unit	NOAA14 号以前に搭載されていたマイクロ波探査計。
MTSAT (-1R)	Multi-functional Transport Satellite (1 Replacement)	日本の運輸多目的衛星 (新 1 号)
NASA	National Aeronautics and Space Administration	米国航空宇宙局。
NASDA	National Space Development Agency of Japan	宇宙開発事業団 (現 JAXA)
NCAR	National Center for Atmospheric Researches	米国大気研究センター。
NCEP	National Centers for Environmental Prediction	米国環境予測センター。
NESDIS	National Environmental Satellite, Data, and Information Service	米国環境衛星資料情報局。
NOAA	National Oceanic and Atmospheric Administration	米国海洋大気庁、または米国海洋大気庁が運用する現業用極軌道衛星。
S-NPP (Suomi-NPP)	Suomi National Polar-orbiting Partnership	NOAA 衛星の次世代衛星 (JPSS-1) の試験衛星。
OceanSat	Satellite for the Ocean	ISRO (Indian Space Research Organization) が運用している海洋観測衛星。2 号機に OSCAT を搭載した。
OSCAT	OceanSat Scatterometer	OceanSat-2 衛星に搭載しているマイクロ波後方散乱計 (13.7GHz 帯を利用)。2009 年に運用を開始したが 2013 年に運用終了。2015 年打ち上げ予定の ScatSat-1 に搭載予定。
PR	Precipitation Radar	TRMM 衛星に搭載された衛星搭載レーダー。13.8GHz の波長帯で観測。
PT (数)	Pattern T(Tropical) number	ドブラック法で CI 数を解析するための 3 つの T 数の 1 つ。雲の形状を基本図 (PT チャート) と比較して求めた T 数。
QuikSCAT	Quick Scatterometer	NASA が運用していた極軌道衛星。マイクロ波散乱計 SeaWinds を搭載していたが 2009 年に運用を終了した。
RAMMB	Regional and Mesoscale Meteorology Branch	NOAA/NESDIS が CIRA と共同で運営している領域・メソ気象部門。
RADOB	Radar Observation	国際気象通報式 FM20 レーダー気象通報式。

RapidScat	Rapid Scatterometer	ISS（国際宇宙ステーション）に搭載予定のマイクロ波後方散乱計（13.4GHz 帯を利用）。2014年に稼働予定。
RSMC	Regional Specialized Meteorological Center	特定地域の日々の気象や台風など特定の気象現象について解析・予報するための資料を作成し、各国に配信する地域中枢。北西太平洋の熱帯擾乱については、気象庁予報部予報課アジア太平洋気象防災センターが RSMC Tokyo としての役割を担う。
SAPHIR	Sondeur Atmospherique du Profil d'Humidite Intertropicale par Radiometrie	Megha-Tropiques衛星に搭載されている大気の水蒸気サウンダ。
SAREP	code for REPorting synoptic interpretation of cloud data obtained by meteorological Satellite	国際気象通報式 FM85 気象衛星資料実況通報式。
SATAID	SATellite Animation and Interactive Diagnosis	気象衛星センターで開発された衛星画像閲覧ソフトウェア。
SATCON	CIMSS TROPICAL CYCLONE INTENSITY CONSENSUS	ADT（静止気象衛星画像による客観ドボラック解析）AMSU、SSMIS 等で推定した熱帯擾乱の中心気圧の推定値のコンセンサス表示 Web サイト。
SeaWinds	SeaWinds	QuikSCAT 衛星に搭載されたマイクロ波後方散乱計（13.4GHz 帯を利用）。ADEOS（みどり）に搭載された NSCAT が短期間で運用できなくなったため急遽開発された。
SSM/I	Special Sensor Microwave/Imager	DMSP15号以前に搭載されているマイクロ波放射計。
SSM/T-1	Special Sensor Microwave/Temperature Sounder	DMSP15号以前に搭載されているマイクロ波気温サウンダ。
SSM/T-2	Special Sensor Microwave Water Vapor Sounder	DMSP15号以前に搭載されているマイクロ波水蒸気サウンダ。
SSMIS	Special Sensor Microwave Imager Sounder	DMSP16号以降搭載されているSSM/Iに探査計用チャンネルを追加したマイクロ波放射計。
SSP	Sub Satellite Point	衛星直下点。
STS	Severe Tropical Storm	最大風速が 48kt（約 25m/s）以上 63kt（約 33m/s）未満の台風。
T 数	Tropical Number	Dvorak 法において熱帯擾乱の強度を示す指数。0.0～8.0 の 15 段階で表す。数字の大きさは熱帯擾乱の強さを表すと共に発生からの時間経過（日）も示す。
TC（番号）	Tropical Cyclone (Number)	海上風警報を付加された熱帯低気圧(TD)以上の熱帯擾乱に対して気象庁予報部予報課が指定する年間通算番号。
TD	Tropical Depression	最大風速が 34kt（約 17m/s）未満の熱帯低気圧。
TS	Tropical Storm	最大風速が 34kt（約 17m/s）以上 48kt（約 25m/s）未満の台風。
TMI	TRMM Microwave Imager	TRMM 衛星に搭載されたマイクロ波放射計。

TOVS	TIROS Operational Vertical Sounder	NOAA 14号以前に搭載されているTIROS実用型鉛直探査計。HIRS、MSU、SSUから構成される。
TRMM	Tropical Rainfall Measuring Mission	熱帯降雨観測計画、またはその衛星の名称である熱帯降雨観測衛星。
TY	Typhoon	最大風速が64ノット(約33m/s)以上の台風。
WindSat	WindSat	Coriolis衛星に搭載された海上風速を推定するためのマイクロ波放射計。
WMO	World Meteorological Organization	世界気象機関。
クロストラックスキャン		低軌道衛星のアンテナの走査方式の一つ。衛星の進行方向と直交する方向にアンテナを走査して観測を行う方法。観測データの空間解像度は走査位置によって異なるが、幅広く(1000~2000km)観測が可能。極軌道衛星の場合は衛星がほぼ南北に移動するため観測方向は東西となる。
コニカルスキャン		低軌道衛星のアンテナの走査方式の一つ。地表面に対して一定の角度(概ね35°~55°程度)をつけたアンテナを回転させながら観測を行う方法。解像度は衛星直下点と周辺部で変化せず、角度をつけているため偏波情報も利用可能。観測範囲(幅)はクロストラックスキャンより狭い。